

## 安全データシート

## 項目1. 特定

製品識別子	: PS1420A
化学品の名称	: PS1420A UV ハイパフォーマンスプライマーサーフェーサー
化学物質を特定する他の方法	: 1250050247
発行日	: 2024年8月8日
バージョン	: 1.01
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	: 業務用塗料成分。
使用上の制限	: 業界のトレーニング受講済みプロフェッショナル専用。非売品および一般の利用禁止。
供給者の会社名称、住所及び電話番号	: アクサルタ コーティング システムズ合同会社 東京都港区虎ノ門一丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー4F Japan
製品情報	: +81 (0)3-6891-0230
緊急連絡電話番号	: +81 (0)3-3519-3182

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類	: エアゾール - 区分1 皮膚刺激性 - 区分2 眼刺激性 - 区分2A 皮膚感作性 - 区分1 生殖毒性 - 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (麻酔作用) - 区分3 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2 水生環境有害性 短期(急性) - 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) - 区分3
------------	---

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H222, H229 - 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。  
H315 - 皮膚刺激  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H319 - 強い眼刺激  
H336 - 眠気又はめまいのおそれ  
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
H371 - 臓器の障害のおそれ(呼吸器)  
H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(血液系、呼吸器)  
H401 - 水生生物に毒性  
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

## 2. 危険有害性の要約

- 安全対策** : P201 - 使用前に取扱説明書入手すること。  
P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P280 - 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。  
P210 - 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P211 - 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。  
P271 - 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
P273 - 環境への放出を避けること。  
P260 - 粉じん又はミストを吸入しないこと。  
P270 - この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。  
P264 - 取扱い後は手をよく洗うこと。  
P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P251 - 使用後を含め, 穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- 応急措置** : P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
P304 + P340, P312 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
P362 + P364 - 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。  
P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。  
P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。  
P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
- 保管** : P405 - 施錠して保管すること。  
P410 + P412 - 日光から遮断し, 50°C以上の温度にばく露しないこと。  
P403 + P233 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 廃棄** : P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
- その他の危険有害性** : 認知済みのものは無し。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	労働安全衛生法
ジメチルエーテル	≥30 - ≤40	115-10-6	2-360	(2)-360
アセトン	19	67-64-1	2-542	(2)-542
脂肪族ウレタンジアクリル酸	≤10	-	情報なし。	情報なし。
滑石(タルク) アスベスト、石英を含まず	≤5.0	14807-96-6	情報なし。	情報なし。
トリプロピレングリコールジアクリレート	≤5.0	42978-66-5	7-152	9-2531; 9-768
2-ブタノン	3.7	78-93-3	2-542	2-542
ポリヒドロキシアクリル酸変性物	≤3.0	-	-	-
酢酸ブチル	2.5	123-86-4	2-731	2-(6)-226
アクリル酸と[2-(クロロメチル)オキシラン・4,4'-イソプロピリデンジフェノール重合物]のエステル	≤3.0	55818-57-0	7-706	情報なし。
キシレン	1.5	1330-20-7	3-3; 3-60	(3)-3; (3)-60
りん酸亜鉛	1.4	7779-90-0	1-1181; 1-526	(1)-1181; (1)-526
フェニルビス(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィン=オキシド	≤3.0	162881-26-7	3-4445	4-(3)-93
アクリル酸変性物	≤3.0	-	情報なし。	情報なし。
ジアクリル酸=2,2'-(2,2-ジメチルプロパン-1,3-ジイルジオキシ)ビス(1-メチルエチル)	≤3.0	84170-74-1	7-152; 7-708	2-(6)-1835
エチルベンゼン	0.38	100-41-4	3-28; 3-60	(3)-28; (3)-60
二酸化チタン	0.26	13463-67-7	情報なし。	2-(3)-509

### 3. 組成及び成分情報

供給者の現在有する知識範囲と該当する濃度において、健康または環境に対して危険有害性があると分類されるために、このセクションで報告が義務づけられている追加成分は含まれておりません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

### 4. 応急措置

- 吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
- 皮膚に付着した場合** : 多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 眼に入った場合** : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

##### 予想される急性健康影響

- 吸入した場合** : 吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。眠気又はめまいのおそれ
- 皮膚に付着した場合** : 皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 眼に入った場合** : 強い眼刺激
- 飲み込んだ場合** : 飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。

##### 過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
気道刺激性  
咳  
吐き気または嘔吐  
頭痛  
眠気/疲労  
浮動性のめまい/目眩  
意識不明  
胎児体重の減少  
子宮内胎児死亡の増加  
骨格の変形
- 皮膚に付着した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
刺激  
充血  
胎児体重の減少  
子宮内胎児死亡の増加  
骨格の変形

## 4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
痛み及び刺激  
流涙  
充血
- 飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
胎児体重の減少  
子宮内胎児死亡の増加  
骨格の変形

- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。
- 火災時の特有の危険有害性 : 極めて可燃性の高いエアゾール 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。ガスが下部または囲まれた場所に蓄積するか、あるいは相当な距離を移動して発火点まで移動してフラッシュバックを引き起こし、火災を引き起こすことがある。エアゾール容器が破裂すると、火の中から高速で飛び出してくることがある。本製品は水生生物に毒性を有する。本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。エアゾールが破裂した場合、加圧された内容物および噴射剤が急速に放出されるので注意しなければならない。容器が大量に破裂した場合は、物質の大量流出と同様に除去セクションの指示に従って処理する。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

## 6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。圧縮容器: 直射日光を避け、50°C以下に保つ。使用後でも穿孔したり焼却してはならない。暴露を避けること—使用前に取扱説明書を手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。ガスの吸入を避ける。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。防爆型の電気装置(換気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。火花を発生させない工具を使用すること。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

### 保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保存する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

- : 換気が十分な場所でのみ使用する。工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。防爆型換気装置を使用する。

### ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
アセトン	日本産業衛生学会(日本, 5/2023) OEL-M 8時間: 200 ppm. OEL-M 8時間: 475 mg/m <sup>3</sup> . 労働安全衛生法(日本, 6/2020) 管理濃度 8時間: 500 ppm.
第1種粉塵(滑石、ろう石、アルミニウム、アルミナ、珪藻土、硫化鋳、硫化焼鋳、ベントナイト、カオリナイト、活性炭、黒鉛)	日本産業衛生学会(日本, 5/2023) [第1種粉塵(ろう石、アルミニウム、アルミナ、珪藻土、硫化鋳、硫化焼鋳、ベントナイト、カオリナイト、活性炭、黒鉛)] OEL-M 8時間: 2 mg/m <sup>3</sup> . 形: 総粉塵(第1種粉塵). OEL-M 8時間: 0.5 mg/m <sup>3</sup> . 形: 吸入性粉塵(第1種粉塵). 日本産業衛生学会(日本, 5/2023) 皮膚感作物質.
ジアクリル酸=1, 4, 7-トリメチル-3, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイル・[(2, 2, 2', 2'-テトラキス(ヒドロキシメチル)-3, 3'-オキシジプロパノールと6-ヘキサノリド付加物の縮合物)とアクリル酸のエステル化物]共重合物 2-ブタンオン	日本産業衛生学会(日本, 5/2023) OEL-M 8時間: 200 ppm. OEL-M 8時間: 590 mg/m <sup>3</sup> . 労働安全衛生法(日本, 6/2020) 管理濃度 8時間: 200 ppm.

## 8. ばく露防止及び保護措置

酢酸ブチル	日本産業衛生学会 (日本, 5/2023) OEL-M 8 時間: 100 ppm. OEL-M 8 時間: 475 mg/m <sup>3</sup> . 労働安全衛生法 (日本, 6/2020) 管理濃度 8 時間: 150 ppm.
キシレン	日本産業衛生学会 (日本, 5/2023) 生殖毒性物質2. OEL-M 8 時間: 50 ppm. OEL-M 8 時間: 217 mg/m <sup>3</sup> . 労働安全衛生法 (日本, 6/2020) [キシレン] 管理濃度 8 時間: 50 ppm.
エチルベンゼン	日本産業衛生学会 (日本, 5/2023) 発がん性 2B、生殖毒性物質2. 皮膚から吸収. OEL-M 8 時間: 20 ppm. OEL-M 8 時間: 87 mg/m <sup>3</sup> . 労働安全衛生法 (日本, 6/2020) 管理濃度 8 時間: 20 ppm.
二酸化チタン	日本産業衛生学会 (日本, 5/2023) [二酸化チタン] 発がん性 2B. OEL-M 8 時間: 1.5 mg/m <sup>3</sup> (Tiとして). 形: 吸入性粉塵. OEL-M 8 時間: 2 mg/m <sup>3</sup> (Tiとして). 形: 総粉塵. 日本産業衛生学会 (日本, 5/2023) [二酸化チタン ナノ粒子] OEL-M 8 時間: 0.3 mg/m <sup>3</sup> . 形: ナノ粒子.

### 保護具

#### 呼吸用保護具

: 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

#### 手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

#### 眼、顔面の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

#### 皮膚及び身体の保護具

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。静電気から引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状态 : 液体

色 : 灰色。

臭い : 情報なし。

臭いのしきい値 : 情報なし。

pH : 該当しない

融点/凝固点 : 技術的に測定不能

沸点 : 該当しない

引火点 : 密閉式: -20°C (-4°F)

燃焼点 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

可燃性(固体、気体) : 情報なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 下限: 2.1含有量(%) 上限: 18.6含有量(%)
蒸気圧	: 184.6 kPa (1384.5 mm Hg)
蒸気密度	: 情報なし。
密度	: 0.891 g/cm <sup>3</sup>
溶解度	: 情報なし。
n-オクタノール/水分配係数	: 該当しない
自然発火点	: 131°C (267.8°F)
分解温度	: 該当しない
粘度	: 動的 (室温): 情報なし。 動粘性率 (室温): 情報なし。 動粘性率 (40°C (104°F)): 情報なし。
流出時間 (ISO 2431)	: 情報なし。
エアゾール製品	
エアゾールの種類	: スプレー
燃焼熱	: 18.99 kJ/g

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: いかなる発火源 (火花あるいは炎) にも近づけてはならない。
混触危険物質	: 特にデータは無い。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
ジメチルエーテル	LC50 吸入した場合 ガス LC50 吸入した場合 蒸気 LD50 経皮	ラット ラット ラット	164000 ppm 309 g/m <sup>3</sup> >99999 mg/kg	4 時間 4 時間 -
アセトン	LD50 経口 LC50 吸入した場合 蒸気 LD50 経皮	ラット ラット ウサギ	>99999 mg/kg 21 mg/l 2001 mg/kg	- 4 時間 -
ジアクリル酸=1, 4, 7-トリメチル-3, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイル・[(2, 2, 2', 2'-テトラキス(ヒドロキシメチル)-3, 3'-オキシジプロパノールと6-ヘキサノリド付加物の縮合物)とアクリル酸のエステル化物]共重合体	LD50 経口 LD50 経皮	ラット ウサギ	6200 mg/kg 6480 mg/kg	- -
2-ブタノン	LD50 経口 LD50 経皮	ラット ラット	2737 mg/kg	-
ポリヒドロキシアクリル酸変性物	LD50 経皮	ウサギ	>13 g/kg	-
酢酸ブチル	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	21.1 mg/l	4 時間

## 11. 有害性情報

キシレン	LD50 経皮 LD50 経口 LC50 吸入した場合 ガス	ウサギ ラット ラット	>17600 mg/kg 10768 mg/kg 5000 ppm	- - 4 時間
エチルベンゼン	LD50 経口 LD50 経皮 LD50 経口	ラット ウサギ ラット	4300 mg/kg >5000 mg/kg 3500 mg/kg	- - -

### 急性毒性の推定

経路	急性毒性推定値 (ATE値)
経口	58769.34 mg/kg
経皮	10663.58 mg/kg
吸入 (気体)	327359.67 ppm
吸入 (蒸気)	121.21 mg/l

### 刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
アセトン	眼 - 軽度の刺激 眼 - 軽度の刺激 眼 - 中程度の刺激 眼 - 強度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激	ヒト ウサギ ウサギ ウサギ ウサギ ウサギ	- - - - - -	186300 ppm 10 uL 24 時間 20 mg 20 mg 395 mg 24 時間 500 mg	- - - - - -
脂肪族ウレタンジアクリル酸	眼 - 刺激物 皮膚 - 刺激物	哺乳動物-種 の明記なし 哺乳動物-種 の明記なし	- -	- -	- -
ジアクリル酸=1, 4, 7-トリメチル, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイル・[(2, 2, 2', 2'-テトラキス(ヒドロキシメチル)-3, 3'-オキシジプロパノールと6-ヘキサノリド付加物の縮合物)とアクリル酸のエステル化物]共重合体	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 uL	-
2-ブタノン	皮膚 - 中程度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ ウサギ ウサギ	- - -	500 mg 24 時間 14 mg 24 時間 500 mg	- - -
ポリヒドロキシアクリル酸変性物	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
キシレン	眼 - 軽度の刺激 眼 - 強度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 中程度の刺激 皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ ウサギ ラット ウサギ ウサギ	- - - - -	87 mg 24 時間 5 mg 8 時間 60 uL 100 % 24 時間 500 mg	- - - - -
エチルベンゼン	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 15 mg	-

### 皮膚感作性/呼吸器感作性

製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果
アクリル酸と[2-(クロロメチル)オキシラン・4, 4'-イソプロピリデンジフェノール重合体]のエステル	皮膚	マウス	感作性

### 生殖細胞変異原性

情報なし。

### 発がん性

情報なし。

### 生殖毒性

情報なし。



## 11. 有害性情報

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

製品 / 成分の名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
ジメチルエーテル アセトン	区分3 区分3 区分3 区分1	- - - -	麻酔作用 気道刺激性 麻酔作用 呼吸器
第1種粉塵(滑石, ろう石, アルミニウム, アルミナ, 珪藻土, 硫化 鉱, 硫化焼 鉱, ベントナイト, カオリナイト, 活性炭, 黒鉛)	区分1	-	-
2-ブタノン	区分1	-	-
酢酸ブチル	区分2	-	-
キシレン	区分1	-	-
エチルベンゼン	区分3 区分3 区分3	- - -	気道刺激性 麻酔作用

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品 / 成分の名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
アセトン	区分2	-	-
第1種粉塵(滑石, ろう石, アルミニウム, アルミナ, 珪藻土, 硫化 鉱, 硫化焼 鉱, ベントナイト, カオリナイト, 活性炭, 黒鉛)	区分1	-	呼吸器
2-ブタノン	区分1	-	-
キシレン	区分1	-	-
りん酸亜鉛	区分1	-	血液系
エチルベンゼン	区分1	-	聴覚器、神経系

## 誤えん有害性

製品 / 成分の名称	結果
エチルベンゼン	誤えん有害性 - 区分1

## 12. 環境影響情報

## 毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
アセトン	急性 EC50 20.565 mg/l 海水 急性 LC50 4.42589 ml/L 海水	藻類 - <i>Ulva pertusa</i> 甲殻類 - <i>Acartia tonsa</i> - コペポディ ト	96 時間 48 時間
	急性 LC50 10000 µg/l 真水 急性 LC50 5600 ppm 真水 慢性 NOEC 4.95 mg/l 海水 慢性 NOEC 0.016 ml/L 真水 慢性 NOEC 0.1 ml/L 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i> 魚類 - <i>Poecilia reticulata</i> 藻類 - <i>Ulva pertusa</i> 甲殻類 - <i>Daphniidae</i> ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i> - 新生 児	48 時間 96 時間 96 時間 21 日 21 日
脂肪族ウレタンジアクリル酸	急性 LC50 >99999 mg/l	魚類	96 時間
2-ブタノン	急性 EC50 >500000 µg/l 海水 急性 EC50 5091000 µg/l 真水 急性 LC50 3220000 µg/l 真水 急性 LC50 1.95 mg/l 真水	藻類 - <i>Skeletonema costatum</i> ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i> - 幼虫 魚類 - <i>Pimephales promelas</i> 魚類	96 時間 48 時間 96 時間 96 時間
アクリル酸変性物	急性 NOEC 0.289 mg/l 急性 LC50 185 ppm 海水 慢性 NOEC 0.25 mg/l	藻類 魚類 - <i>Menidia beryllina</i> 魚類	72 時間 96 時間 33 日
酢酸ブチル アクリル酸と[2-(クロロメチル)オ キシラン・4, 4'-イソプロピリデン ジフェノール重合物]のエステル キシレン	EC50 3.82 mg/l 急性 LC50 13400 µg/l 真水 急性 LC50 13.3 mg/l 海水 急性 LC50 13.9 mg/l 真水	甲殻類 - <i>Penaeus monodon</i> 魚類 - <i>Pimephales promelas</i> 甲殻類 - <i>Artemia sp.</i> - ノープリウス ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i> - 新生 児	48 時間 96 時間 48 時間 48 時間
エチルベンゼン			
二酸化チタン	急性 LC50 >1000000 µg/l 海水	魚類 - <i>Fundulus heteroclitus</i>	96 時間

## 12. 環境影響情報

### 残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
アクリル酸変性物	OECD 301B Ready Biodegradability - CO <sub>2</sub> Evolution Test	60 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-
キシレン	OECD 301 F	90 含有量(%) - 28 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
アクリル酸変性物	-	-	容易
キシレン	-	-	容易

### 生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP <sub>ow</sub>	BCF	可能性
ジメチルエーテル	0.07	-	低
アセトン	-0.23	-	低
ジアクリル酸=1, 4, 7-トリメチル -3, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイ ル・[(2, 2', 2'', 2'''-テトラキス(ヒ ドロキシメチル)-3, 3'-オキシジブ ロパノールと6-ヘキサリド付加物 の縮合物とアクリル酸のエステル 化物]共重合物	2	-	低
2-ブタノン	0.3	-	低
アクリル酸変性物	2.89	-	低
酢酸ブチル	2.3	-	低
アクリル酸と[2-(クロロメチル)オ キシラン・4, 4'-イソプロピリデン ジフェノール重合物]のエステル	1.6 から 3	-	低
キシレン	3.12	8.1 から 25.9	低
りん酸亜鉛	-	60960	高
フェニルビス(2, 4, 6-トリメチル ベンゾイル)ホスフィン=オキシドエ チルベンゼン	5.77	<5	低
	3.6	-	低

### 土壌中の移動性



土壌/水分配係数(K<sub>oc</sub>) : 情報なし。  
移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない  
他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。容器は、穴を開けたり、焼却したりしてはならない。

## 14. 輸送上の注意

	IMDG	IATA
国連番号	UN1950	UN1950
品名	AEROSOLS	Aerosols, flammable
国連分類 クラス	2.1 	2.1 
容器等級	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。

**使用者のための特別な予防措置** : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

### 船舶安全法

#### 船舶による危険物の運送基準等を定める告示

非該当

### 容器等級

非該当

### 消防法

カテゴリー	物質名／種類
第四類危険物	第一石油類

消防活動阻害物質 : 該当

高圧ガス保安法 : 情報なし。

海洋汚染防止法 : 情報なし。

道路法 : 情報なし。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

本製品の実際の船積み明細は、材料の容積、コンテナの寸法、輸送手段、および適用される規制で規定される免除または例外の使用を含む(ただしこれらに限定されない)、複数の要因に基づき変動する場合があります。セクション14に規定される内容も、本製品の船積み明細に含まれる可能性があります。当該の業務の詳細については、貴社の船積みの担当者またはサプライヤーにお問い合わせください。

## 15. 適用法令

### 消防法

類別等	品名/性質	危険等級	注意事項	
第四類危険物	第一石油類	II	火気厳禁	200 L

消防活動阻害物質 : 該当

### 労働安全衛生法

指定数量

特別有機溶剤等 : 該当しない

有機溶剤中毒予防規則 : 第二種

### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
アセトン	該当	17
メチルエチルケトン	該当	570
酢酸ブチル	該当	181
キシレン	該当	136
エチルベンゼン	該当	70

### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
アセトン	該当	17
メチルエチルケトン	該当	570
酢酸ブチル	該当	181
キシレン	該当	136
エチルベンゼン	該当	70
酸化チタン(IV)	該当	191

### 安衛法第28条第3項の規定に基づくがん原性物質

化学名又は一般名	状況	整理番号
エチルベンゼン	該当	-

労働安全衛生法施行令 別表 : 引火性の物  
第一 危険物

### 化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
キシレン	優先評価化学物質	125
エチルベンゼン	優先評価化学物質	50
アクリル酸	優先評価化学物質	94
トルエン	優先評価化学物質	46
クメン	優先評価化学物質	126

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR) - 2023年3月まで

非該当

### 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR) - 2023年4月より

## 15. 適用法令

化学名又は一般名	状況	整理番号
キシレン ビス(りん酸)三垂鉛	第一種 第二種	80 793

日本産業衛生学会 発がん性物 : 第2群B

質

海洋汚染防止法 : 情報なし。

道路法 : 情報なし。

特別管理産業廃棄物 : 非該当

## 16. その他の情報

### 履歴

発行日 : 2024年8月8日

バージョン : 1.01

作成者 : 製品スチュワードシップと規制コンプライアンス。

次の規格に基づき作成 : JIS Z 7253:2019; JIS Z 7252:2019

### 略語の解説

ATE = 急性毒性推定値

BCF = 生物濃縮係数

GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

IATA = 国際航空輸送協会

IBC = 中型運搬容器

IMDG = 国際海上危険物

LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数

MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する

1978年の議定書。(“Marpol” = 海洋汚染)

N/A = データなし

UN= 国際連合

前バージョンから変更された情報を指摘する。

### 注意事項

本製品は、工業用途のみを意図したものです。

安全データシート(SDS)の内容は、発行日時点で正確であると認識されていますが、アクサルタ コーティング システムズまたは同社の子会社、系列会社(アクサルタ)が、新しい情報を入手し次第、変更される場合があります。本SDSは、サプライヤーからアクサルタに提供された情報が含まれている場合があります。使用の際には、必ず最新版のSDSをご参照ください。使用者は、責任をもって、本SDSに記載される安全上の注意に従ってください。本製品の安全な取扱い、使用、処分に適用されるすべての法律と規制を遵守するのは、ユーザーの責任です。

アクサルタ製品のユーザーは、使用前に製品に関連したすべての情報をお読みになり、製品が意図した用途に適したものであるかどうかを自らご判断いただく必要があります。適用法により別の内容が要求される場合を除き、アクサルタは、商品性または特定の目的への適合性に関する暗黙的な保証を含め(ただしこれに限定されない)、明示的または暗黙的に一切の保証をしません。このSDSに関する情報は、セクション1「識別情報」に記載される特定の製品にのみ関連し、他の材料との組合せ、または特定のプロセスで想定される使用との関連性はありません。本製品が他の製品と組み合わせて使用される場合、使用前にすべての製品のSDSをお読みになり、内容を理解することをお勧めします。

© 2022 Axalta Coating Systems, LLC and all affiliates.無断複写・転載を禁ず。アクサルタ コーティング システムズ製品の使用者にのみ、複製を許可します。